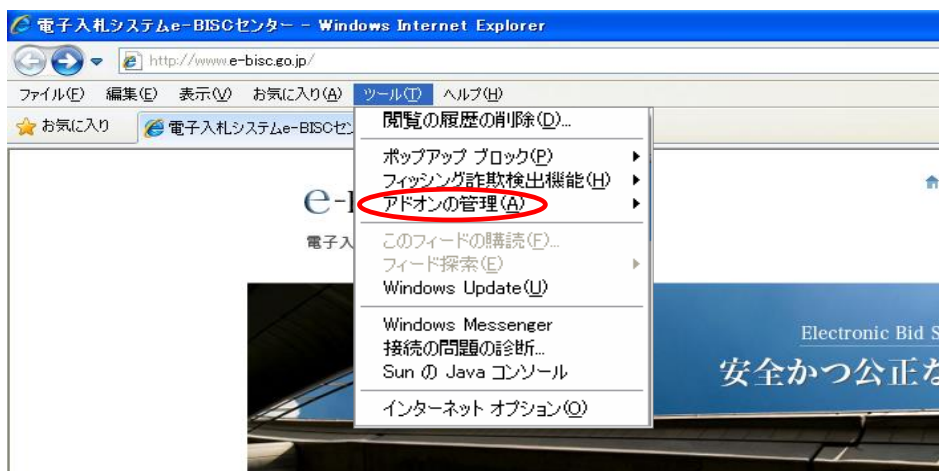


Java有効化の設定手順

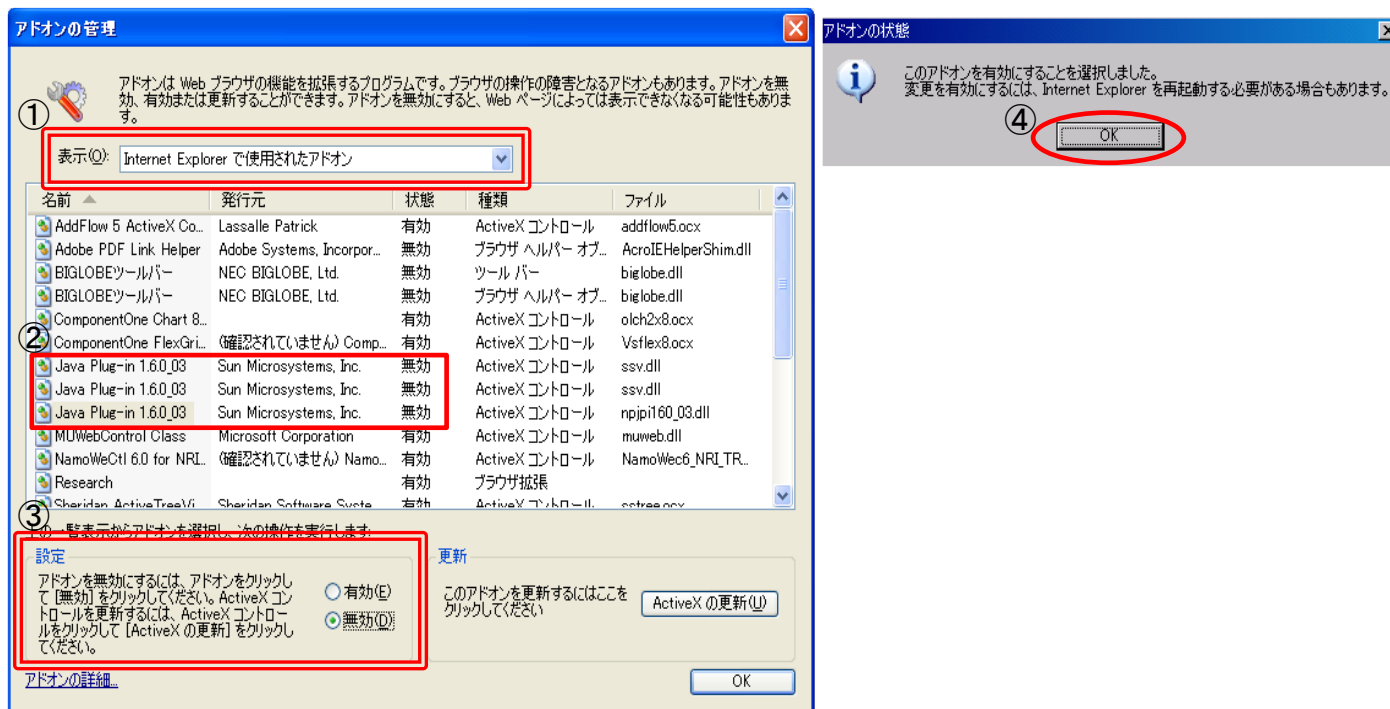
- Javaの有効化はブラウザとJavaソフトのそれぞれで設定を行います。

ブラウザでのJava有効化の設定手順【IE7】

1. Internet Explorerを起動し、メニューバーの「ツール」より「アドオンの管理」を選択してください。

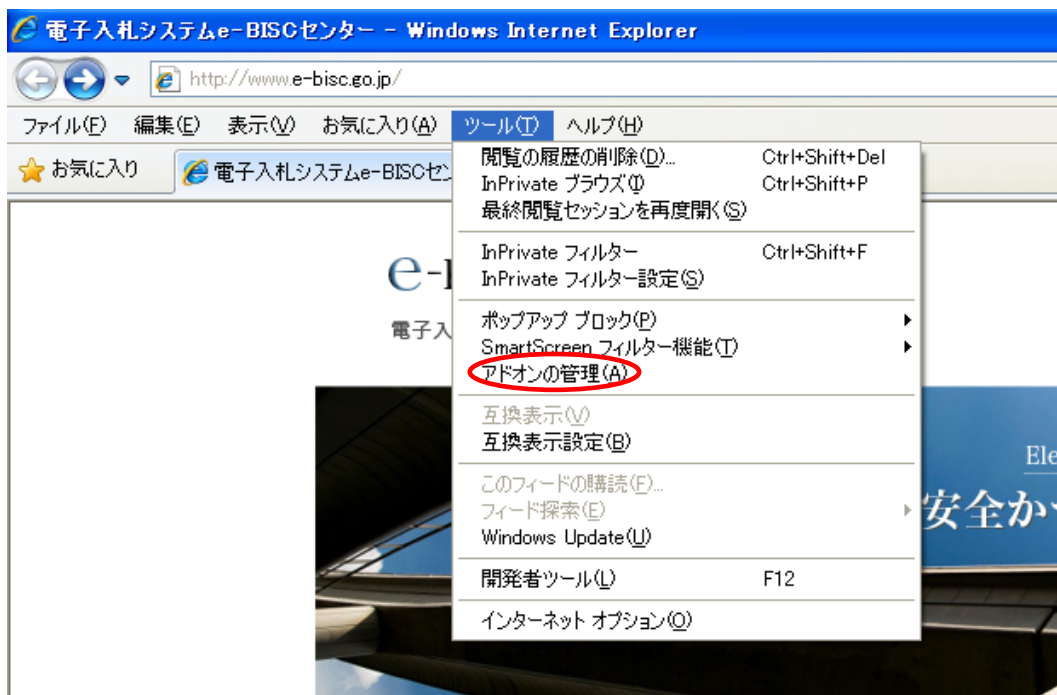


2. アドオンの管理画面の「表示」欄は「Internet Explorerで使用されたアドオン」を選択し、導入している「Java Plug-in X.X.X.XX」を選択し、画面左下の「有効」をクリックしてください。
※「アドオンの状態」画面が表示された場合、「OK」ボタンをクリックしてください。

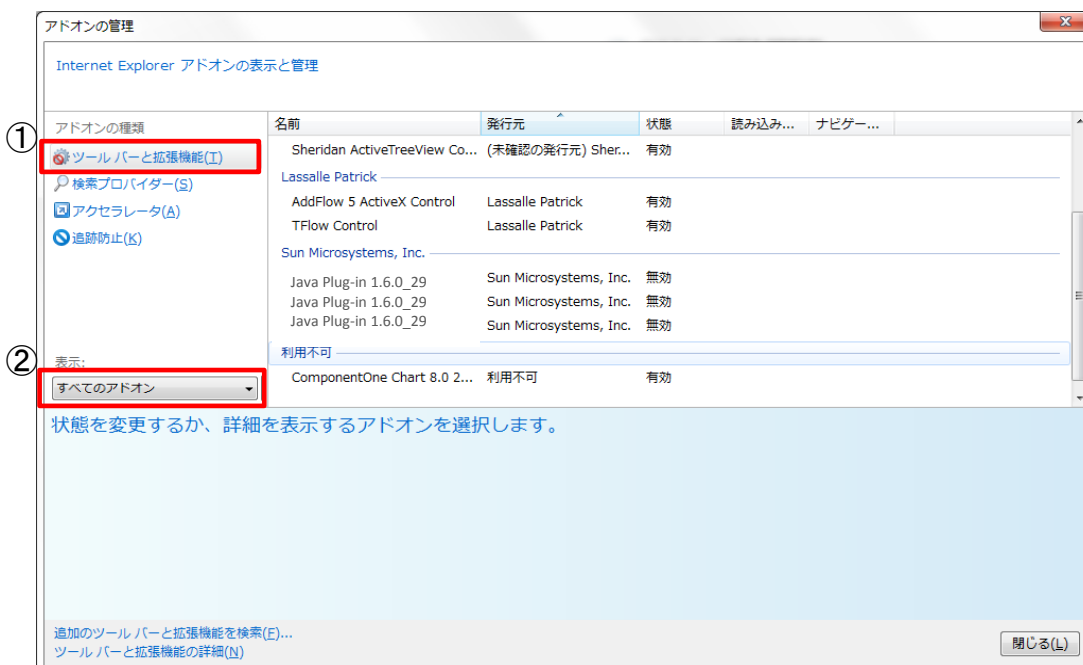


ブラウザでのJava有効化の設定手順【IE8、IE9、IE10、IE11】

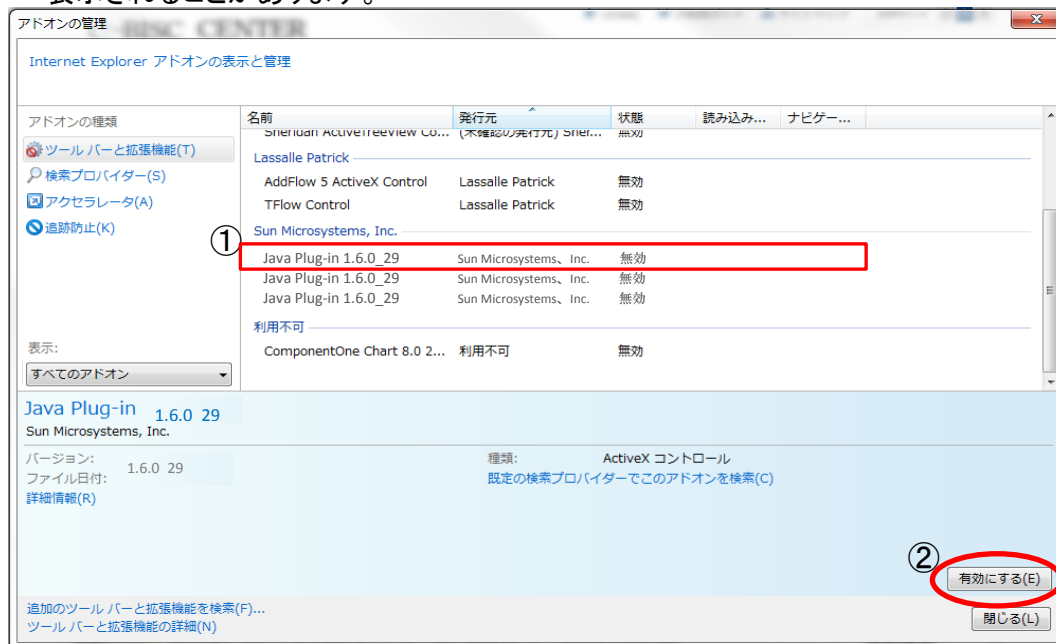
1. Internet Explorerを起動し、メニューバーの「ツール」より「アドオンの管理」を選択してください。



2. アドオンの管理画面の「アドオンの種類」から「ツールバーと拡張機能」を選択し「すべてのアドオン」を選択してください。

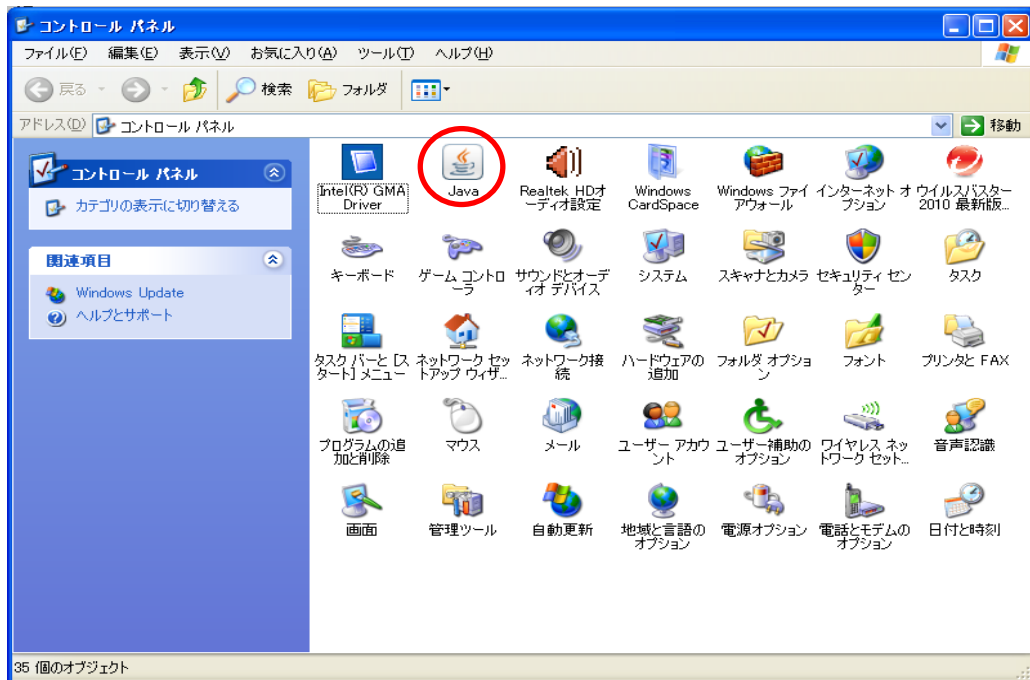


3. 導入している「Java Plug-in X.X.X_XX」を選択し、画面右下の「有効にする」をクリックしてください。
※JRE7.0 Update15以降のバージョンが導入されている場合、Java Plug-in 10.15.2と表示されることがあります。

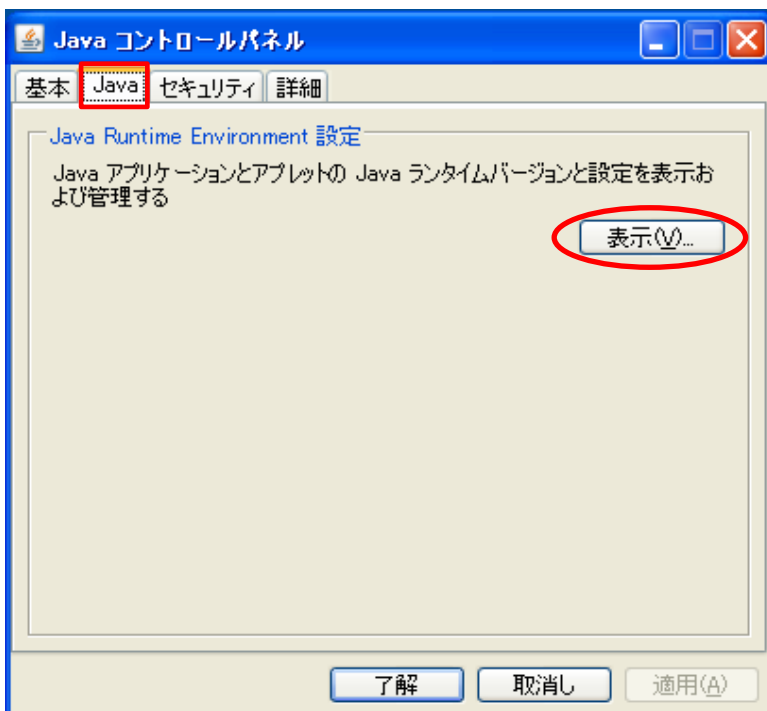


JavaソフトでのJava有効化の設定手順【JRE6.0、JRE7.0/JRE8.0共通】

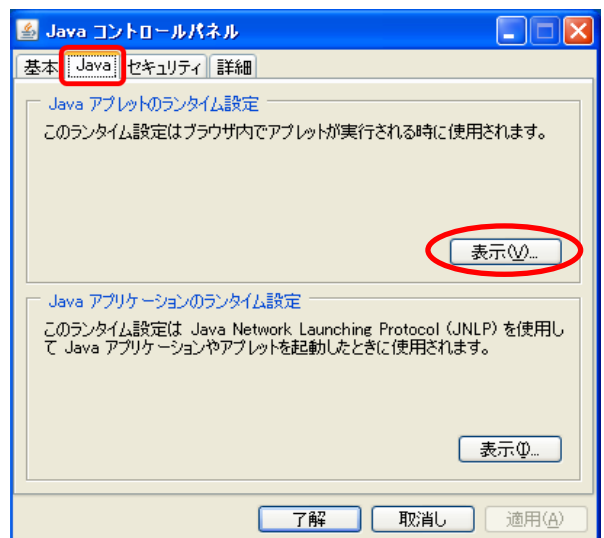
1. コントロールパネルを起動し「Java」のアイコンをダブルクリックしてください。



2. Java コントロールパネル画面の「Java」タブを選択し「Java Runtime Environment 設定」の「表示」ボタンをクリックしてください。



《参考》 JRE6.0 Update03の場合
「Javaアプレットのランタイム設定」の
「表示」ボタンをクリックしてください。

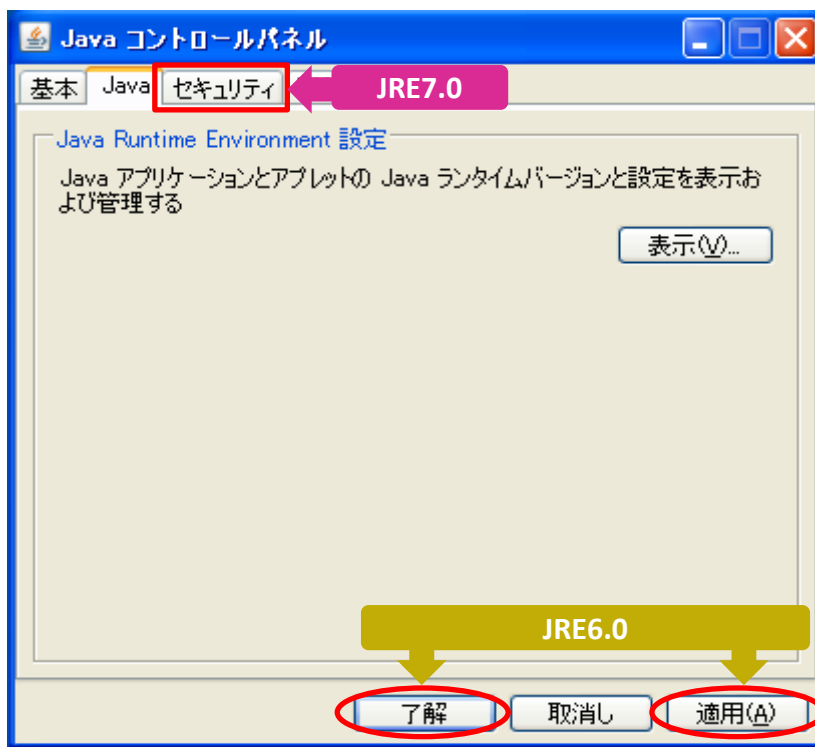


3. Java Runtime Environment 設定画面の「ユーザ」タブを選択し、電子入札システムで動作しているJavaの「有効」欄にチェックを入れ、「了解」ボタンで画面を閉じてください。

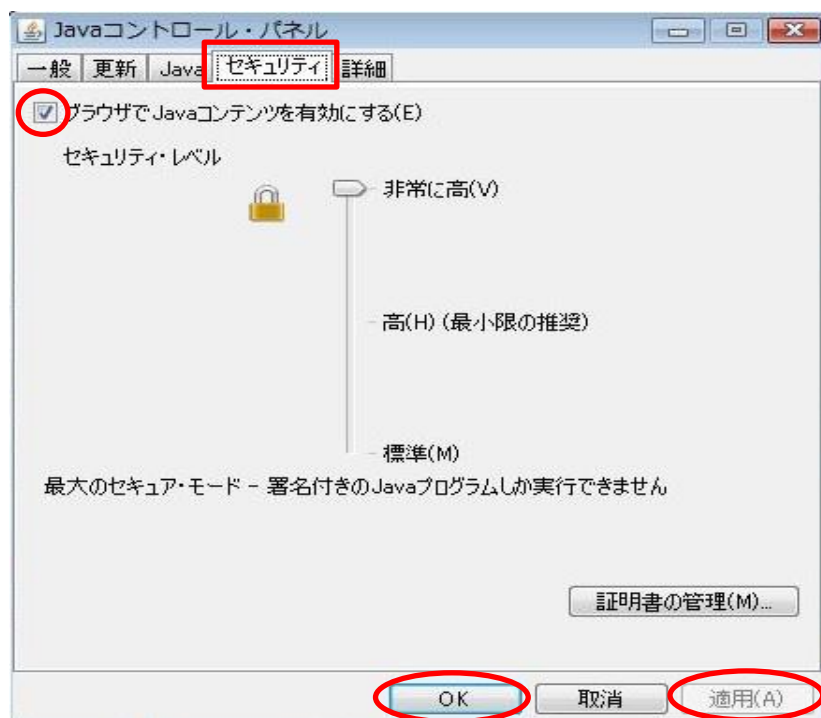


4. 【JRE6.0】 Javaコントロールパネル画面の「適用」ボタンをクリックしたうえで「了解」ボタンでJavaコントロールパネル画面を閉じてください。
「コントロールパネル」を「×」ボタンで閉じ、設定は完了です。

【JRE7.0/JRE8.0】 Java コントロールパネル画面の「セキュリティ」タブを選択し、「5」の手順にすすんでください。



5. 「ブラウザでJavaコンテンツを有効にする」のチェックボックスを確認し
チェックが入っていない場合はチェックを入れてください。



6. Javaコントロールパネル画面の「適用」ボタンをクリックしたうえで
「OK」ボタンでJavaコントロールパネル画面を閉じてください。
「コントロールパネル」を「×」ボタンで閉じ、設定は完了です。